

プロフェッショナル ビデオモニター


取扱説明書

LMD-B240

LMD-B170

ソフトウェアバージョン1.1

ご購入いただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDMI

安全のために

ソニー製品は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。

8ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期点検をする

長期間安全に使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします。点検の内容や費用については、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ① 電源を切ります。
- ② 電源コードや接続コードを抜きます。
- ③ お買い上げ店またはソニーのご相談窓口までご相談ください。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



スラグをコン
セントから抜く



アース線を
接続せよ

目次

⚠ 警告	4
⚠ 注意	5
その他の安全上のご注意	7
使用上のご注意	8
液晶画面について	8
焼き付きについて	8
長時間の使用について	8
LCD（液晶）パネルの輝点・減点について	8
画面の取り扱いとお手入れについて	8
結露	9
廃棄するときは	9
各部の名称と働き	10
前面パネル	10
入力信号と調整・設定項目	12
後面パネル	13
スタンド（標準装備）の取り外し（LMD-B240）	15
スタンド（標準装備）の取り外し（LMD-B170）	15
ハンドルの取り外し（LMD-B240のみ）	16
電源コードの接続	16
初期設定	17
メニューの操作方法	17
設定値の保護	18
メニューを使った調整	19
項目一覧	19
調整と設定	19
[設定状態] メニュー	19
[色温度/ガンマ] メニュー	20
[ユーザーコントロール] メニュー	21
[ユーザー設定] メニュー	21
[パラレルリモート] メニュー	28
[ロック設定] メニュー	28
故障かな？と思ったら	29
保証書とアフターサービス	29
保証書	29
アフターサービス	29
主な仕様	30
寸法図	33

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。



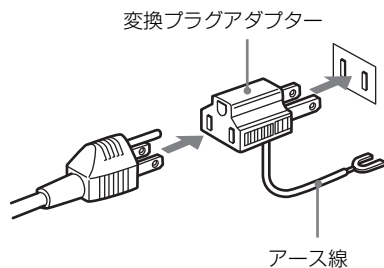
アース線を
接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。

次の方法でアースを接続してください。

- 電源コンセントが3極の場合
付属の電源コードを使用することで安全アースが接続されます。
- 電源コンセントが2極の場合
付属の3極→2極変換プラグを使用し、変換プラグから出ているアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。



安全アースを取り付けることができない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。

取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近付いたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグをもって抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に変更をご依頼ください。



指示

電源コードのプラグ及びコネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまでさしこまないと、火災や感電の原因となります。



分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏蓋を開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



禁止

通気孔をふさがない

通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から10 cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

注意

下記の注意を守らないと、**けが**をしたり**周辺**の物品に**損害**を与えることがあります。



禁止

DC入力端子に規格以外の入力電圧をかけない

DC入力端子に規格以外の入力電圧をかけると火災や感電の原因となることがあります。



指示

表示された電源電圧で使用する

製品の表示と異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



指示

設置は専門の工事業者に依頼する

設置については、必ずお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。壁面や天井などへの設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめください。

充分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。

また、1年に一度は、取り付けがゆるんでないことを点検してください。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてケガの原因となることがあります。また、設置・取付け場所の強度を充分にお確かめください。



指示

専用ブレーカーまたはスイッチを設ける

万一、異常が起きた場合は火災や感電の原因となることがあります。

ご使用の際は、本機の近くの容易に接近できる屋内配線内に専用ブレーカーまたはスイッチを設けるか、または本機の使用中でも容易に抜き差しできるコンセントに電源コードを接続してください。



指示

スタンド取り付け、取りはずしの際はモニターを横にする

スタンドの取り付け、取りはずしの際にはテーブルの上などにモニターの画面を下にして置いてから行ってください。モニターを立てたままスタンドの取り付け、取りはずしを行うとモニターが転倒、落下しけがの原因となることがあります。



指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続・配置してください。



注意

転倒、移動防止の処置をする

モニターをラックに取り付け・取りはずしするときは、転倒・移動防止の処置をしないと、倒れたり、動いたりして、けがの原因となることがあります。

安定した姿勢で注意深く作業してください。また、ラックの設置状況、強度を充分にお確かめください。



注意

密閉環境に設置する際は注意する

本機をラックやモニター棚に収納した際、上下及び周辺の機器によりモニター周辺の通風孔が妨げられ動作温度が上がり、故障や発熱の原因となる可能性があります。

本機の動作条件温度0℃から35℃を保つように上下に1U (4.4 cm) 以上の隙間をあげ、また周辺機器との隙間を充分にとり、通気孔の確保や通気ファンの設置などの配慮をしてください。



禁止

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



指示

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



指示

移動の際は電源コードや接続コードを抜く

コード類を接続したまま本機を移動させると、コードに傷がついて火災や感電の原因となることがあります。



指示

定期的に内部の掃除を依頼する

長い間、掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。(有料)

特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。



指示

付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、火災や感電の原因となることがあります。



指示

本体のハンドルを持って運搬する(LMD-B240のみ)

モニターを運ぶときは、必ず本体のハンドルを持ってください。落下して、けがの原因となることがあります。



指示

ハンドルの取付ネジを定期的に確認する(LMD-B240のみ)

ハンドルの取付ネジがゆるんでいると本体の落下によりけがをすることがあります。定期的に取付ネジがゆるんでいないことを点検してください。

その他の安全上のご注意

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

機器を水滴のかかる場所に置かないでください。また水の入った物、花瓶などを機器の上に置かないでください。

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。
他の機器には使用できません。

注意

この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。

警告

イヤホンやヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

LMD-B240のみ

本機をラックに設置するときは、ラックと本機の間、上下に1U (4.4 cm) 以上、左右に1.0 cm以上の空間を確保してください。
新聞、テーブルクロス、カーテンなどで通気孔をふさがないでください。
火を付けたろうそくなど、着火源となる裸火を機器の上に置かないでください。

LMD-B170のみ

設置時には、通気やサービス性を考慮して設置スペースを確保してください。

- 通気孔（後面）をふさがない。
- 通気のために、セット周辺に空間をあける。
- 作業エリアを確保するため、セット後方は、40 cm以上の空間をあける。

机上などの平面に設置する場合は、上下に1U (4.4 cm) 以上の空間をそれぞれ確保してください。ただし、セット上部はサービス性を考慮し40 cm以上の空間を確保することを推奨します。

温度・湿度の動作条件

温度：0℃～35℃

湿度：30%～85%以下（結露のないこと）

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

使用上のご注意

液晶画面について

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどご注意ください。
- 液晶画面を強く押ししたり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、LCD（液晶）パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、横縞が見えたり、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

焼き付きについて

一般に、LCD（液晶）パネルは、焼き付きが起こることがあります。画面内の同じ位置に変化しない画像の表示を続けたり、くり返し表示したりすると、焼き付いた画面を元に戻せなくなります。

長時間の表示で焼き付きが発生しやすい画像

- 画面縦横比16:9以外のマスク処理された画像
- カラーバーや長時間静止した画像
- 設定や動作状態を示す文字やメッセージなどの表示
- センターマーカー、セーフエリアマーカーなどの表示

焼き付きを軽減するには

- 文字表示やマーカー表示を消す
MENUボタンを押して、文字表示を消します。接続した機器の文字表示やマーカー表示を消すには、接続した機器を操作してください。詳しくは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。
- 電源をこまめに切る
長時間使用しないときは、電源を切ってください。

長時間の使用について

固定された画像や静止画などを長時間連続して表示した場合や、高温環境下で連続運用した場合は、LCD（液晶）パネルの構造上、残像や焼き付き、しみ、すじ、輝度低下などが発生することがあります。

特に、アスペクト変更などで表示エリアよりも狭いサイズで表示し続けた場合、パネル劣化の進行が早まるおそれがあります。

静止画などの長時間連続表示、または密閉された空間や空調機器の吹き出し口付近など高温多湿環境下における連続運用を避けてください。

モニター使用時に輝度を少し下げたり、モニター未使用時に電源を切ったりするなどして、上記のような現象を未然に防ぐことをおすすめします。

LCD（液晶）パネルの輝点・減点について

本機のLCD（液晶）パネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や減点がある場合があります。また、LCD（液晶）パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。

これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

画面の取り扱いとお手入れについて

画面には、反射による映りこみを抑えるため、特殊な表面処理を施しています。誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、次のことを必ずお守りください。また、画面は傷つきやすいので固い物などでこすったり、たたいたり、物をぶつけたりしないでください。

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 画面には特殊な表面処理をしているので、シールなどの粘着物は絶対に貼らないでください。
- 画面には特殊な表面処理をしているので、なるべく直接手で触れないようにしてください。
- 画面の汚れは、クリーニングクロスなどの乾いた柔らかい布でそっと拭いてください。
- 画面の汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に、水で薄めた中性洗剤を少し含ませて軽く拭いてください。
- クリーニングクロスにゴミなどが付着したまま強く拭くと、画面に傷が付くことがあります。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、研磨剤入り洗剤、化学ぞうきんなどは、画面を傷めますので絶対に使用しないでください。
- 画面の表面からほこりを取り除くときは、ブローアをお使いください。

結露

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

廃棄するときは

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。
ごみ廃棄場で処分されるごみの中にモニターを捨てないでください。
- 使用済みのモニターは、国または地域の法令に従って廃棄してください。

この取扱説明書について

本書は次のモニターについて説明しています。

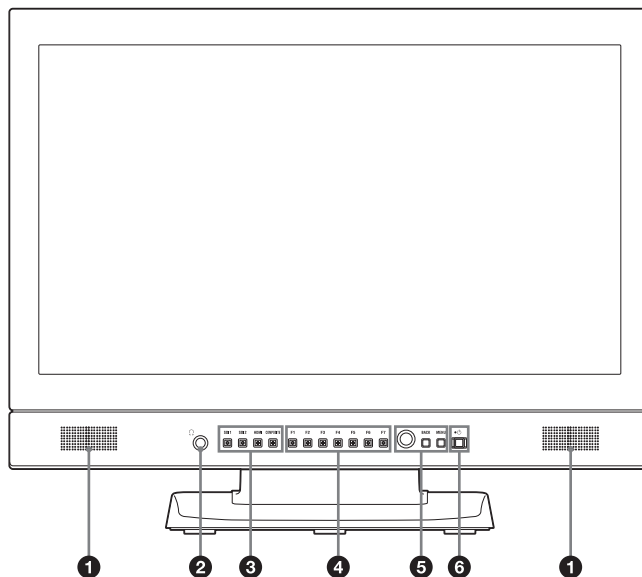
- LMD-B240
- LMD-B170

イラストはLMD-B170を使用して説明してあります。

説明が異なる場合は、別々に説明してありますので該当する部分をお読みください。

各部の名称と働き

前面パネル



① スピーカー

入力切り替えボタンで選んだ入力信号の音声はステレオで出力されます。

出力される音声は [ユーザー設定] メニューの [オーディオ設定] (27ページ) で変更できます。

スピーカーから出力されている音声は、後面のAUDIO OUT端子の接続有無にかかわらず出力されます (13ページ参照)。

⓪端子にヘッドホンなどが接続されているときは音声が出力されません。

ご注意

スピーカーの出力を超える音声信号を入力しないでください。

また出力される音声割れたり歪んだりするときは、音量を調整してご使用ください。

② ⓪ (ヘッドホン) 端子

入力切り替えボタンで選んだ入力信号のステレオ音声が出力されます。

③ 入力切り替えボタン

各端子に入力された信号をモニターするときに押します。

SDI1ボタン: SDI IN①端子からの信号をモニターするとき

SDI2ボタン: SDI IN②端子からの信号をモニターするとき

HDMIボタン: HDMI IN端子からの信号をモニターするとき

COMPOSITEボタン: COMPOSITE IN端子からの信号をモニターするとき

④ ファンクションボタン

割り当てられた機能をオン/オフします。工場出荷時は次の設定になっています。

F1ボタン: [ブライトネス]

F2ボタン: [コントラスト]

F3ボタン: [クロマ]

F4ボタン: [スキャン]

F5ボタン: [マーカー]

F6ボタン: [音量]

F7ボタン: [WFM/ALM/Vector]

[ユーザー設定] メニューの [ファンクションボタン設定] (22ページ) で各種機能を割り当てることができます。

[ファンクションボタン設定] メニューは、ファンクションボタンを長押しすることでも表示できます。

[ブライトネス]、[コントラスト]、[クロマ]、[音量]、[WFM ライン位置]、[フェーズ]、[アパーチャー]、[フォーカスゲイン] の機能が割り当てられたボタンは、一度押すと画面上に調整画面が表示されます。もう一度押すと調整画面が消え、消えた状態で画面や信号を見ながら調整できます。

5 メニュー操作ボタン

メニュー画面の表示や設定をします。

メニュー選択つまみ

メニューが表示されているとき、つまみを回してメニュー項目および設定値を選択し、つまみを押して決定します。

メニューが表示されていないときにつまみを押すと、ボタンの名称を示す文字類が点灯し、ファンクションボタンに割り付けられた機能が画面に表示されます。もう一度押すと消えます。

また、メニューが表示されていないときにつまみを2秒以上長押しすると、信号フォーマットが画面に表示されます。

BACK (バック) ボタン

メニュー画面が表示されているときに押すと、調整した項目の調整値が1つ前の状態に戻ります（一部の項目を除く）。

MENU (メニュー) ボタン

メニューを表示したり、消したりします。
押すとメニューが表示され、もう一度押すと消えます。

6 (電源) スイッチとインジケータ

本機の電源が切れているときに押すと電源が入り、インジケータが緑で点灯します。

もう一度押すと電源が切れ、インジケータが消灯します。

インジケータによるエラー／警告表示について

本機が動作中、前面パネルの(電源)スイッチのインジケータにエラーや警告が表示されることがあります。

DC入力でお使いのときにエラー表示が出た場合は、正しいDC電圧範囲でご使用になっているかご確認ください。
AC入力でお使いのとき、正しいDC電圧範囲のDC入力でお使いのときにエラー表示が出た場合は、ソニーの営業担当者またはサービス担当者にお問い合わせください。

エラー表示	症状
赤点滅	パネル、電源、センサーに異常があります。また、DC入力電圧が範囲外の場合にエラー表示を出します。DC電源の電圧が12 V～17 Vの範囲内か確認してください。

警告表示	症状
アンバー点滅 (1秒おき)	温度上昇から本機を保護するために輝度を下げています。

警告表示	症状
アンバー点滅 (0.5秒おき)	DC入力電圧が使用可能範囲の下限に近づいた場合に警告表示を出します。DC電源の電圧が12 V～17 Vの範囲内か確認してください。そのまま使用し続けると、本機の電源が切れるおそれがあります。

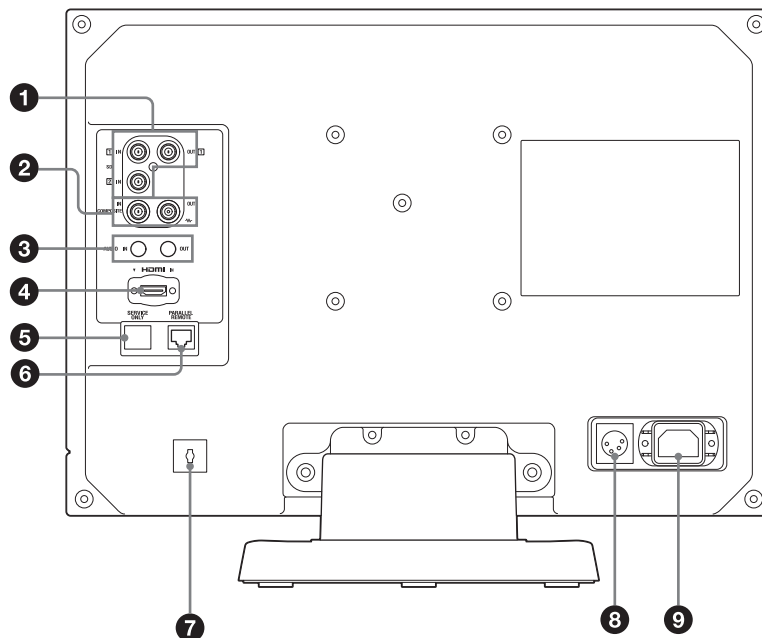
入力信号と調整・設定項目

項目	入力信号						
	コンポジット		SDI		HDMI		HDMI/DVI
	カラー	白黒	SD	HD	SD	HD	PC
色温度	○	○	○	○	○	○	○
ガンマ	○	○	○	○	○	○	○
アパーチャ	○	○	○	○	○	○	×
垂直シャープネス	○	○	×	×	×	×	×
ACC	○	×	×	×	×	×	×
水平シフト、垂直シフト	○	○	×	×	×	×	×
DVI RGBレンジ	×	×	×	×	×	×	○ 1)
HDMI RGBレンジ	×	×	×	×	○	○	○ 2)
SDIベイロードID判別	×	×	○ 3)	○ 3)	×	×	×
NTSCセットアップ	○	○	×	×	×	×	×
マーカー	○	○	○	○	○	○	×
タイムコード	×	×	○	○	×	×	×
カメラフォーカス	×	×	○	○	○	○	×
WFM/ALM/Vector	×	×	○	○	○ 4)	○ 4)	○ 4)
スキャン	○	○	○	○	○	○	○
アスペクト	○	○	○	×	○	×	×
ブルーオンリー	○	○	○	○	○	○	○
Mono	○	○	○	○	○	○	○
ブライトネス	○	○	○	○	○	○	○
コントラスト	○	○	○	○	○	○	○
クロマ	○	○	○	○	○	○	○
フェーズ	○ 5)	×	×	×	×	×	×
左右反転、上下反転、 上下・左右反転	○	○	○	○	○	○	×
サイドバイサイド	×	×	○	○	×	×	×
シンクフリー SBS	×	×	○	○	○	○	○

○：調整・設定できる項目
 ×：調整・設定できない項目

- 1) DVI PCのみ有効です。HDMI PCはHDMI RGBレンジ設定に従います。
- 2) HDMI PCは有効ですが、DVI PCは無効です。
- 3) ベイロードIDが重畳されている信号の場合に有効です。
- 4) [Vector] は信号フォーマットがRGBのときは動作しません。
- 5) NTSCのみ有効です。

後面パネル



① SDI (HD/SD) 入／出力端子 (BNC型)

IN①端子、IN②端子

シリアルデジタルコンポーネント信号の入力端子です。
2系統 (SDI1とSDI2) の入力に対応します。

OUT①端子

シリアルデジタルコンポーネント信号の出力端子です。
SDI1の出力に対応します。

ご注意

OUT出力は、電源が入っているときに出力されます。

② COMPOSITE (コンポジット) 入／出力端子 (BNC型)

IN端子

コンポジットビデオ信号の入力端子です。

OUT端子

ループスルー出力端子です。

ご注意

本機ヘジッターなどがあるビデオ信号を入力すると、画像が乱れることがあります。その場合は、TBC (タイムベースコレクター) の使用をおすすめします。

③ AUDIO (音声) 入／出力端子 (ステレオミニジャック)

IN端子

VTRなどの外部機器の音声出力端子と接続します。

OUT端子

前面の入力切り替えボタンで選んだ信号の音声信号が出力されます。

出力される音声は [ユーザー設定] メニューの [オーディオ設定] (27ページ) で変更できます。

ご注意

OUT出力は、電源が入っているときに出力されます。

④ HDMI IN端子

HDMI ¹⁾信号を入力します。

HDMI信号 (High-Definition Multimedia Interface) とは、デジタル機器間で映像／音声信号をデジタルのまま1本のケーブルで送ることができるインターフェースです。高品質な映像が表示できます。デジタル画像信号の暗号化技術を使用した著作権保護技術であるHDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) にも対応しています。

1) HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。

ご注意

- HDMIケーブル (別売) は、ケーブルタイプロゴが明記されたHigh Speedタイプのケーブルをお使いください (ソニー製を推奨します)。
- HDMIオーディオは、[CH1]、[CH2] 固定出力です。

⑤ SERVICE ONLY端子 (RJ-45型) (サービス用)

⑥ PARALLEL REMOTE (パラレルリモート) 端子 (RJ-45型8ピン)

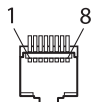
パラレルコントロールスイッチを構成してモニターを外部操作します。

ご注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクタをこの端子に接続しないでください。

接続については本書の指示に従ってください。

ピン配列



ピン番号	機能
1	入力信号 [SDI1] を指定
2	入力信号 [SDI2] を指定
3	入力信号 [HDMI] を指定
4	入力信号 [コンボジット] を指定
5	GND
6	[WFM/ALM/Vector]
7	[タリー 緑]
8	[タリー 赤]

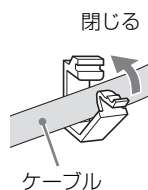
機能割り付けについては、「[[パラレルリモート] メニュー」 (28ページ) をご覧ください。

リモートコントロールを使用するための配線

リモートコントロールで使用したい機能をアース (5ピン) に接続します。

⑦ HDMIケーブルホルダー

HDMIケーブル (φ7 mm以下) を固定します。



HDMIケーブルホルダーを取り外すときは、回転させ、ロックを外して抜いてください。

⑧ (DC) 入力端子

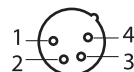
外部DC電源を接続することにより、本機を動作させることができます。

DC 12 V~17 Vで動作します。



必ず指定範囲の電圧値の電源を接続してください。

ピン配列



ピン番号	機能
1	- (GND)
2	NC
3	NC
4	+ (DC 12 V~17 V)

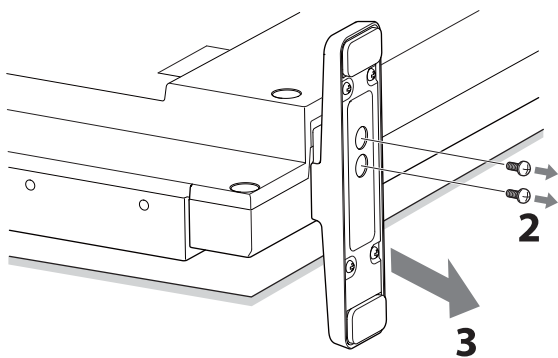
⑨ AC INソケット

付属の電源コードを接続します。

スタンド（標準装備）の 取り外し（LMD-B240）

本機をラックに取り付けたりする場合は、本機底面のスタンドを取り外してください。

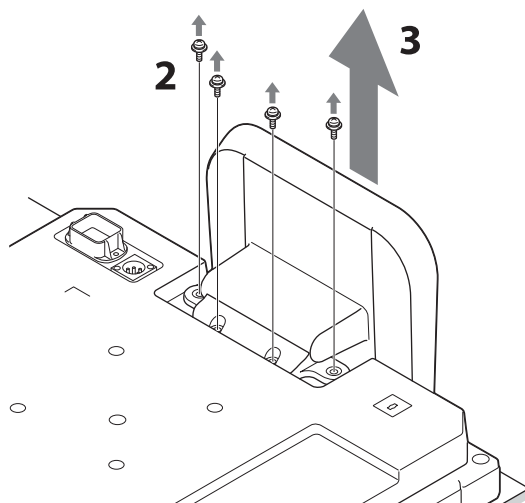
- 1 柔らかいシートの上にモニター面を下にして置く。
- 2 ネジ2本を外す。
- 3 スタンドをモニターから取り外す。



スタンド（標準装備）の 取り外し（LMD-B170）

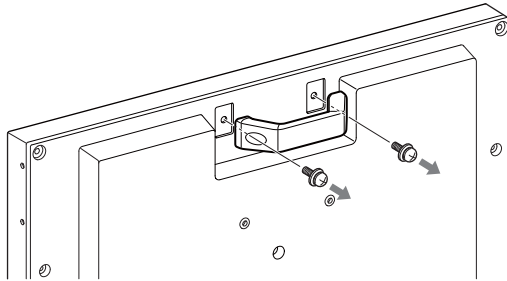
本機をラックに取り付けたりする場合は、本機底面のスタンドを取り外してください。

- 1 柔らかいシートの上にモニター面を下にして置く。
- 2 ネジ4本を外す。
- 3 スタンドをモニターから取り外す。



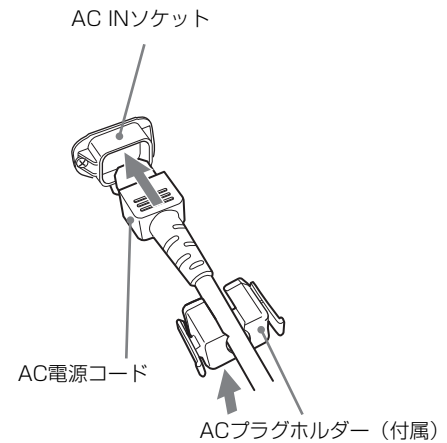
ハンドルの取り外し (LMD-B240のみ)

本機をラックに取り付けたりする場合は、本機背面のハンドルを取り外してください。

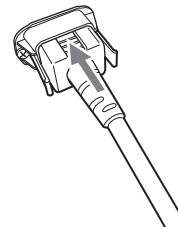


電源コードの接続

- 1 AC電源コードを後面のAC INソケットに差し込み、付属のACプラグホルダーをAC電源コードに取り付ける。



- 2 固定レバーがロックされるまで、ACプラグホルダーをはめこむ。



電源コードを外すには

ACプラグホルダーの固定レバーを両側からはさんでロックを外し、引き抜きます。

初期設定

はじめてお使いになるときは、お使いになる言語を選択してください。言語は、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、日本語、中国語（簡体）から選択できます。

◆ 本体の操作方法については、「メニューの操作方法」（17ページ）をご覧ください。

言語を選択すると、以下の項目も同時に設定されます。

言語	[色温度]	[NTSCセットアップ]
英語	[D65]	[7.5]
フランス語		
ドイツ語		
スペイン語		
イタリア語		
日本語	[D93]	[0]
中国語（簡体）	[D65]	[7.5]

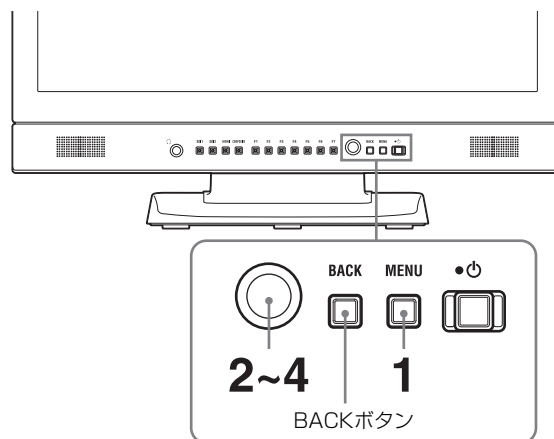
色温度とNTSCセットアップの設定は変更可能です。設定変更の方法は、以下のページをご覧ください。

- [色温度]（20ページ）
- [NTSCセットアップ]（21ページ）

メニューの操作方法

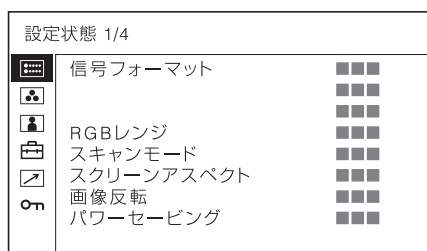
本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。

説明で使用するメニュー画面イラストの■■■■マーク部分には、モニターの現在の設定値が表示されます。



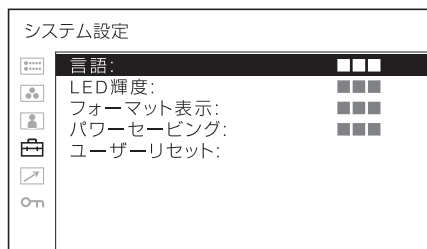
1 MENUボタンを押す。

メニュー選択画面が表示されます。
現在選択されているメニューが黄色で表示されます。



2 メニュー選択つまみを回してメニューを選び、メニュー選択つまみを押す。

選んだメニューのアイコンが黄色で表示され、設定項目が表示されます。



3 項目を選ぶ。

メニュー選択つまみを回して設定項目を選び、メニュー選択つまみを押します。
変更する項目が黄色で表示されます。
項目が複数のメニューページにわたる場合、メニュー選択つまみを回して必要なメニューページを表示させます。

4 設定項目の調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合：

数値を大きくするときは、メニュー選択つまみを右に回します。

数値を小さくするときは、メニュー選択つまみを左に回します。

メニュー選択つまみを押すと確定され、元の画面に戻ります。

設定を選ぶ場合：

メニュー選択つまみを回して設定を選び、メニュー選択つまみを押します。

調整や設定値を元に戻す場合：

メニュー選択つまみを押す前に、BACKボタンを押します。

ご注意

- 設定項目で黒色表示の項目はアクセスできない状態を意味します。白色表示に変わるとアクセスが可能になります。
- [キーロック] が [オン] に設定されている場合、すべての設定項目が黒色表示になります。設定変更が必要な場合は、[キーロック] を [オフ] に設定し直してから行ってください。

◆キーロックについて詳しくは、「[ロック設定] メニュー」(28ページ)をご覧ください。

画面を1つ前に戻すには

BACKボタンを押します。

メニュー画面を消すには

MENUボタンを押します。

約1分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。

設定値の保護

設定値は、[キーロック] で保護できます。

設定値がキーロックで保護されている場合、設定値の変更はできません。

設定値を変更するときは、[キーロック] の設定を [オフ] にしてください。

◆詳しくは、[キーロック] (28ページ) をご覧ください。

メニューを使った調整

項目一覧

本機のスクリーンメニューは次のような構成になっています。

☰ 【設定状態】（表示のみ）

本機の設定状況などを表示します。

◆表示される項目については、「[設定状態] メニュー」（19ページ）をご覧ください。

🎨 【色温度/ガンマ】

- [色温度]
- [マニュアル調整]
- [ガンマ]

👤 【ユーザーコントロール】

- [音量]
- [アパーチャー]
- [バックライト]
- [コンポジット信号調整]

🗄️ 【ユーザー設定】

- [システム設定]
 - [言語]
 - [LED輝度]
 - [フォーマット表示]
 - [パワーセービング]
 - [ユーザーリセット]
- [入力設定]
 - [DVI RGBレンジ]
 - [HDMI RGBレンジ]
 - [SDIペイロードID判別]
- [ファンクションボタン設定]
- [マーカー設定]
 - [表示設定]
 - [アスペクトマーカー]
 - [センターマーカー]
 - [エリアマーカー]
 - [マーカー表示輝度]
- [タイムコード設定]
 - [表示設定]
 - [フォーマット]
 - [画面位置]
 - [透過度]
- [カメラフォーカス設定]

- [カメラフォーカス表示]
- [カメラフォーカスモード]
- [周波数設定]
- [周波数範囲]
- [ゲイン]

[WFM/ALM/Vector（ウェーブフォームモニター／オーディオレベルメーター／ベクトルスコープ）設定]

- [表示設定]
 - [WFM/ALM/Vector]
 - [画面位置]
 - [透過度]
 - [表示輝度]
 - [ライン選択]
 - [ターゲット]
- [オーディオ設定]
- [SDI オーディオ設定]
 - [アナログオーディオ出力]
- [オンスクリーンタリー設定]
- [バックグラウンド表示]

🔗 【パラレルリモート】

🔑 【ロック設定】

- [キーロック]

調整と設定

☰ 【設定状態】 メニュー

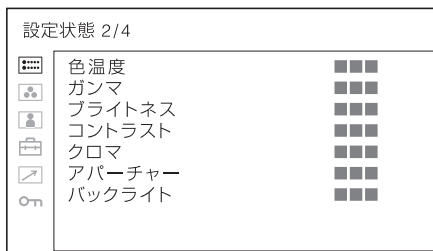
本機の現在の設定状況を表示します。表示される項目は以下のとおりです。

1ページ

設定状態 1/4	
☰	信号フォーマット
🎨	RGBレンジ
🗄️	スキャンモード
🔗	スクリーンアスペクト
🔑	画像反転
	パワーセービング

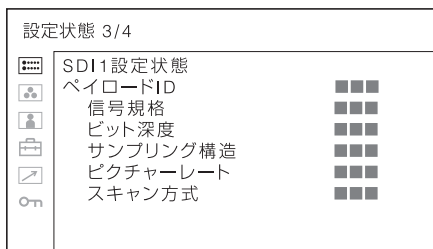
- 信号フォーマット
- RGBレンジ
- スキャンモード
- スクリーンアスペクト
- 画像反転
- パワーセービング

2ページ



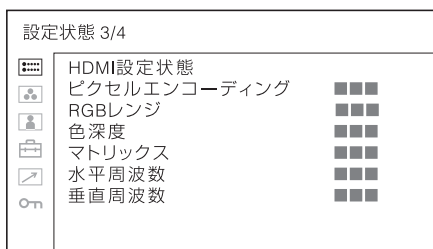
- 色温度
- ガンマ
- ブライツネス
- コントラスト
- クロマ
- アパーチャー
- バックライト

3ページ (SDI入力するとき)



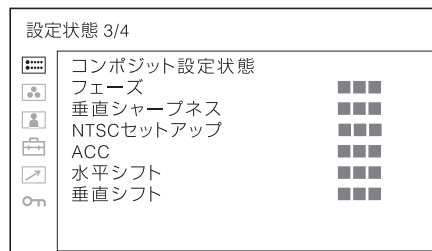
- ペイロードID
- 信号規格
- ビット深度
- サンプリング構造
- ピクチャーレート
- スキャン方式

3ページ (HDMI入力するとき)



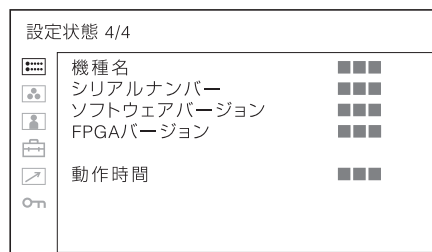
- ピクセルエンコーディング
- RGBレンジ
- 色深度
- マトリックス
- 水平周波数
- 垂直周波数

3ページ (コンポジット入力するとき)



- フェーズ
- 垂直シャープネス
- NTSCセットアップ
- ACC
- 水平シフト
- 垂直シフト

4ページ



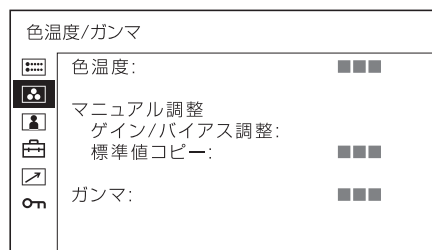
- 機種名
- シリアルナンバー
- ソフトウェアバージョン
- FPGAバージョン
- 動作時間

☰ 【色温度/ガンマ】メニュー

色温度、ガンマを調整するメニューです。

ホワイトバランスの調整には測定器が必要です。

推奨品：コニカミノルタ社製カラーアナライザー CA-210/CA-310



サブメニュー	設定
[色温度]	色温度を [D65]、[D93]、[ユーザー 1]、[ユーザー 2] から設定します。

サブメニュー	設定
[マニュアル調整]	<p>[色温度] を [ユーザー 1]、[ユーザー 2] にしたとき、表示が黒色から白色に変わり、調整できるようになります。調整値はメモリーされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ゲインバイアス調整]: <ul style="list-style-type: none"> • [R ゲイン]: R (赤) のカラーバランス (ゲイン) を調整します。 • [G ゲイン]: G (緑) のカラーバランス (ゲイン) を調整します。 • [B ゲイン]: B (青) のカラーバランス (ゲイン) を調整します。 • [R バイアス]: R (赤) のカラーバランス (バイアス) を調整します。 • [G バイアス]: G (緑) のカラーバランス (バイアス) を調整します。 • [B バイアス]: B (青) のカラーバランス (バイアス) を調整します。 • [標準値コピー]: [D65]、[D93]、[ユーザー 1]、[ユーザー 2] を選択すると、選択された色温度のホワイトバランスデータが、[ユーザー 1] または [ユーザー 2] にコピーされます。
[ガンマ]	画像に合わせて最適な状態を [2.2] または [2.4] から設定します。

👤 [ユーザーコントロール] メニュー

画質を調整するメニューです。

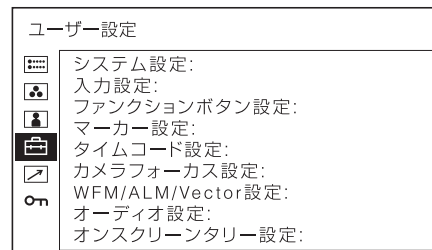


サブメニュー	設定
[音量]	音量を調整します。
[アパーチャー]	輪郭を強調します。設定値が大きくなるとくっきりし、小さくなると柔らかくなります。[カメラフォーカス表示] が [オン] のとき、アパーチャーは機能しません。
[バックライト]	バックライトを調整します。設定値を変えるとバックライトの明るさが変わります。

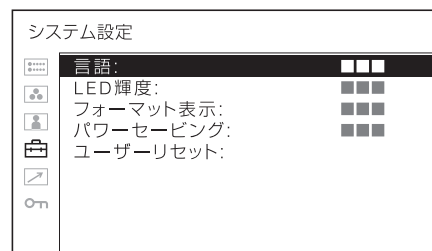
サブメニュー	設定
[コンポジット信号調整]	<ul style="list-style-type: none"> • [垂直シャープネス]: 垂直方向にシャープネスを付加してくっきりした画像を出せます。設定値が大きくなるとくっきりします。 • [NTSCセットアップ]: NTSC信号のセットアップのレベルを選択します。日本は0で、アメリカでは7.5で運用されています。設定値は [0] または [7.5] です。 • [ACC] (オートカラーコントロール): オートカラーコントロール回路の [オン] / [オフ] を設定します。より正確なクロマレベルを確認したいときは [オフ] にします。通常は [オン] にしておきます。 • [水平シフト]: 画像の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。 • [垂直シフト]: 画像の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動します。

🗑️ [ユーザー設定] メニュー

[システム設定]、[入力設定]、[ファンクションボタン設定]、[マーカー設定]、[タイムコード設定]、[カメラフォーカス設定]、[WFM/ALM/Vector (ウェーブフォームモニター/オーディオレベルメーター/ベクトルスコープ) 設定]、[オーディオ設定]、[オンスクリーンタリー設定] を行います。

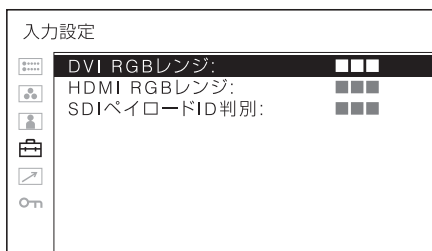


[システム設定]



サブメニュー	設定
[言語]	<p>メニュー表示やメッセージの表示言語を以下の7言語から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [English]: 英語 • [Français]: フランス語 • [Deutsch]: ドイツ語 • [Español]: スペイン語 • [Italiano]: イタリア語 • [日本語]: 日本語 • [中文]: 中国語
[LED輝度]	<p>ボタンおよび電源スイッチのインジケータのLEDの明るさを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [高]: LEDが明るくなります。 • [低]: LEDが暗くなります。
[フォーマット表示]	<p>フォーマットが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [オート]: 信号入力開始後約5秒間だけ表示されます。 • [オフ]: 表示されません。
[パワーセービング]	<p>節電モードの [オン] / [オフ] を設定します。[オン] に設定すると、本体に信号が入力されない状態が約1分以上続くと節電モードになります。</p> <p>節電モード中は、そのとき選択されている入力切り替えボタンが点滅します。</p> <p>ソース名やタリール情報が入力されたとき、前面パネルのボタンを押したとき、パラレルリモートコマンドやシリアルリモートコマンドが入力されたときは、節電モードから復帰します。</p>
[ユーザーリセット]	<p>以下の項目以外を、工場出荷時の設定状態に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 色温度の [ユーザー 1] • 色温度の [ユーザー 2] • 言語設定 <ul style="list-style-type: none"> • [キャンセル]: リセットをキャンセルします。 • [実行]: リセットを実行します。リセットが終わると、モニターが再起動します。

[入力設定]



サブメニュー	設定
[DVI RGBレンジ]	<p>DVI入力でRGBフォーマットの黒レベルと白レベルの値を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [リミテッド]: [16] (黒レベル) ~ [235] (白レベル) • [フル]: [0] (黒レベル) ~ [255] (白レベル)
[HDMI RGBレンジ]	<p>HDMI入力でRGBフォーマットの黒レベルと白レベルの値を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [オート]: [リミテッド] と [フル] の設定をHDMI信号のAVI infoに従って自動的に切り替えて選択します。 • [リミテッド]: [16] (黒レベル) ~ [235] (白レベル) • [フル]: [0] (黒レベル) ~ [255] (白レベル)
[SDIペイロードID判別]	<ul style="list-style-type: none"> • [オン]: SDI信号に重畳されているペイロードIDに従って判別を行います。 • [オフ]: ペイロードIDを使用しません。

[ファンクションボタン設定]



サブメニュー	設定
[F1] から [F7]	<p>前面パネルのF1ボタンからF7ボタンに機能を割り当て、機能をオン/オフできます。</p> <p>[ファンクションボタン設定] メニューは、ファンクションボタンを長押しすることでも表示でき、設定の変更ができます。ただし、他のメニュー画面に移動することはできません。</p>

ファンクションボタンに割り当てられる機能について

[マーカー]

マーカーを表示したいときにボタンを押します。マーカーの設定は [マーカー設定] メニューで行います (24ページ)。

[カメラフォーカス]

カメラのフォーカスを確認したいときにボタンを押します。輪郭が強調された画像が表示されます。カメラフォーカスの設定は [カメラフォーカス設定] で行います (25ページ)。

[フォーカスゲイン]

ボタンを押すと調整画面が表示され、輪郭強調のレベルを調整できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すと輪郭の強調が強くなり、左に回すと弱くなります。

[サイドバイサイド]

SDI信号2入力を同一画面上に並べて表示したいときにボタンを押します。

ご注意

[サイドバイサイド] を使用するときには、以下の点にご注意ください。

- SDI1とSDI2が同じ信号フォーマット、同じ信号システムではない場合、正しく表示されません。
- SDI1とSDI2にゲンロックをかけて同期をとってください。遅延差は±400 ns以内にしてください。

[サイドバイサイド] をオンにすると、スキャン設定はノーマルスキャンになります。

[サイドバイサイド] をオンにすると、以下の機能はオフになります。

- [タイムコード]
- [マーカー]

[WFM/ALM/Vector]

WFM/ALM/ベクトルスコープ画面表示をしたいときにボタンを押します。WFM/ALM/ベクトルスコープ画面の設定は [WFM/ALM/Vector設定] メニューで行います (25ページ)。

[WFM ライン位置]

ボタンを押すと調整画面が表示され、WFMのライン位置を調整できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すとライン位置が下方向に移動し、左に回すと上方向に移動します。

[タイムコード]

タイムコードを表示したいときにボタンを押します。タイムコードの設定は [タイムコード設定] で行います (25ページ)。

[Mono] (白黒)

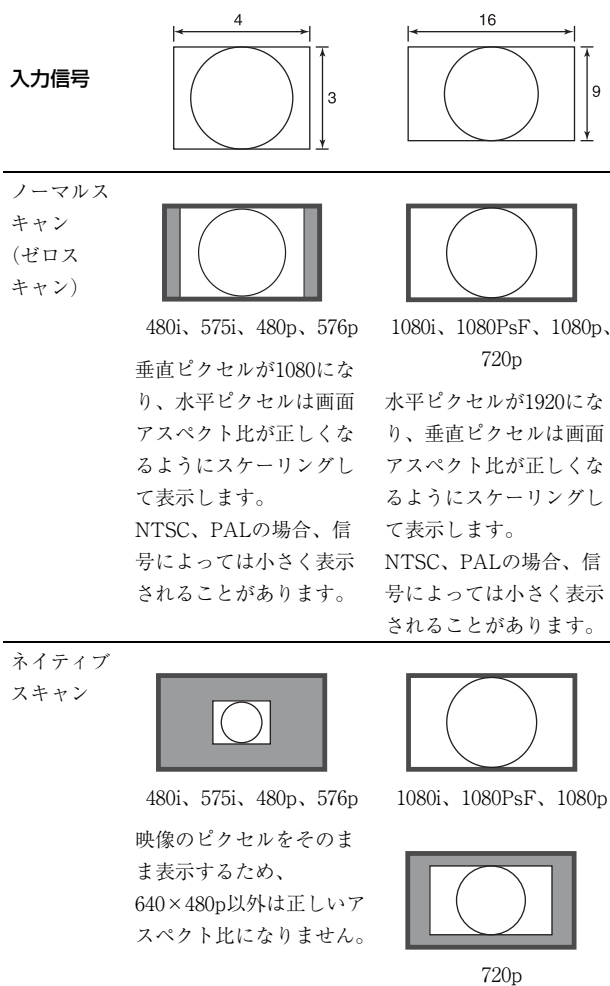
画面を白黒にしたいときにボタンを押します。もう一度押すとカラーに戻ります。

[ブルーオンリー]

赤と緑の信号をカットし、青信号のみを白黒画像として表示したいときにボタンを押します。色の濃さ (クロマ) や色相 (フェーズ) の調整、信号のノイズの監視が容易に行えます。

[スキャン]

画像のスキャンサイズを変えたいときにボタンを押します。押すたびに [ノーマル] スキャンあるいは [ネイティブ] スキャンに切り替わります。



[アスペクト]

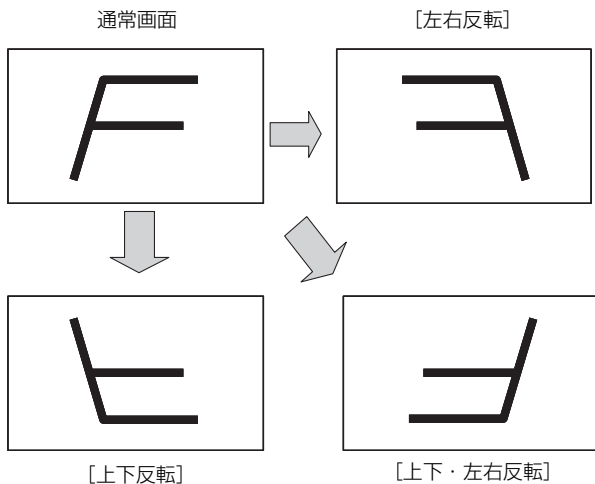
画面のアスペクト (縦横比) を変えたいときにボタンを押します。押すたびに [16:9] あるいは [4:3] に切り替わります。

[左右反転]

[上下反転]

[上下・左右反転]

画像を反転して表示したいときにボタンを押します。[左右反転]、[上下反転]、[上下・左右反転] は、それぞれファンクションボタンに割り当てることができます。



ご注意

反転機能を有効にすると、以下の機能はオフになります。

- [サイドバイサイド]
- [WFM/ALM/Vector]
- [タイムコード]

【ブライトネス】

ボタンを押すと調整画面が表示され、明るさを調整できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すと明るくなり、左に回すと暗くなります。

【コントラスト】

ボタンを押すと調整画面が表示され、コントラストを調整できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すとコントラストが強くなり、左に回すと弱くなります。

【クロマ】

ボタンを押すと調整画面が表示され、色の濃さを調整できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すと色が濃くなり、左に回すと薄くなります。

【フェーズ】

ボタンを押すと調整画面が表示され、色相を調整できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すと緑がかり、左に回すと紫がかります。

【アパーチャー】

ボタンを押すと調整画面が表示され、輪郭を強調できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態

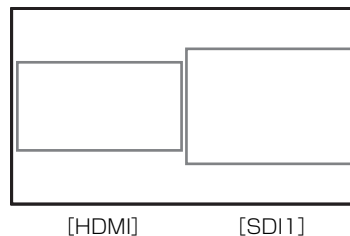
でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すとくっきりとし、左に回すとやわらかくなります。

【音量】

ボタンを押すと調整画面が表示され、音量を調整できます。もう一度押すと調整画面は消えますが、消えた状態でも調整できます。メニュー選択つまみを右に回すと音が大きくなり、左に回すと小さくなります。

【シンクフリー SBS】

デジタル信号2入力を同一画面上に並べて表示したいときにボタンを押します。



ご注意

【シンクフリー SBS】をオンにすると、スキャン設定はノーマルスキャンになります。

【シンクフリー SBS】をオンにすると、以下の機能はオフになります。

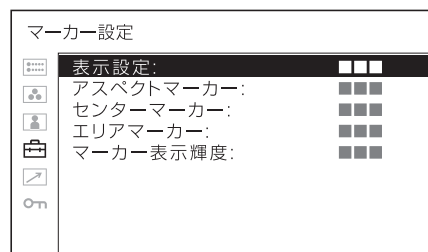
- [タイムコード]
- [マーカー]
- [WFM/ALM/Vector]

【カメラフォーカス】はサブ画面に対しては無効です。

【音声ミュートング】

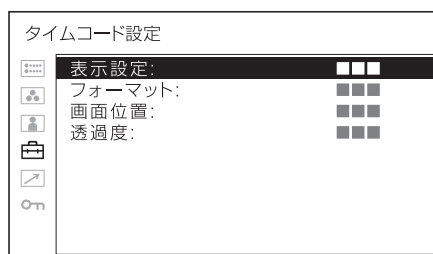
音声出力をミュートするときに押します。もう一度押すか【ユーザーコントロール】メニュー (21ページ) の【音量】調整で音量を上げるとミュートが解除されます。

【マーカー設定】



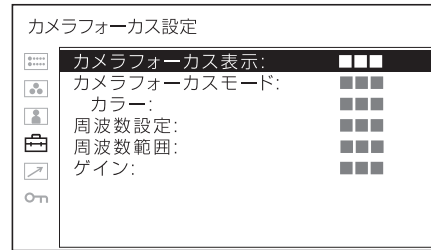
サブメニュー	設定
[表示設定]	マーカーを表示するときは [オン] に設定します。表示しないときは [オフ] に設定します。
[アスペクトマーカー]	アスペクトマーカーのアスペクト比を選択できます。[4:3]、[オフ] から選択します。
[センターマーカー]	画像のセンターを表すマーカーを表示するときは [オン] に設定します。表示しないときは [オフ] に設定します。
[エリアマーカー]	アスペクトマーカーに対するセーフエリアサイズを選択できます。アスペクトマーカーが [オフ] の場合は有効画面に対するセーフエリアサイズです。[オフ]、[80%]、[85%]、[88%]、[90%]、[93%]、[95%] から選択します。
[マーカー表示輝度]	[アスペクトマーカー] と [センターマーカー]、[エリアマーカー] 表示の輝度を設定します。[高] または [低] から選択します。

[タイムコード設定]



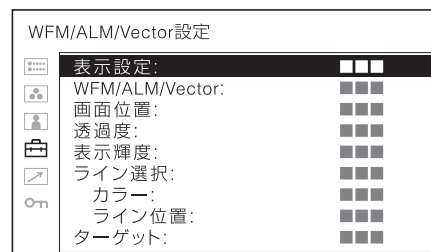
サブメニュー	設定
[表示設定]	タイムコードを表示するときは [オン] に設定します。表示しないときは [オフ] に設定します。
[フォーマット]	タイムコードのフォーマットを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [VITC]: VITCフォーマットで表示するときに選択します。 • [LTC]: LTCフォーマットで表示するときに選択します。
[画面位置]	タイムコードの表示位置を設定します。[上] または [下] から選択します。
[透過度]	タイムコード画面の背景を、[黒] または [ハーフ] (透過) から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [黒]: 背景が黒色になります。表示していた画像は背景の後ろに隠れます。 • [ハーフ]: 背景が透けます。表示していた画像はタイムコード画面の後ろに透けて表示されます。

[カメラフォーカス設定]



サブメニュー	設定
[カメラフォーカス表示]	カメラフォーカスの機能を使用するときは [オン] に設定します。使用しないときは [オフ] に設定します。
[カメラフォーカスモード]	カメラフォーカスモードを切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> • [カラー]: 強調部分がカラー設定で選択された色になります。 • [カラー]: 強調表示色を設定します。[赤]、[緑]、[青]、[黄]、[白] から選択します。 • [標準]: 輪郭が強調された画像になります。
[周波数設定]	輪郭強調信号の中心周波数を設定します。[低]、[中]、[中高]、[高] から選択します。
[周波数範囲]	輪郭強調の対象となる範囲を設定します。[狭]、[標準]、[広] から選択します。
[ゲイン]	輪郭強調のレベルを設定します。

[WFM/ALM/Vector (ウェーブフォームモニター/オーディオレベルメーター/ベクトルスコープ) 設定]



サブメニュー	設定
[表示設定]	[WFM] (ウェーブフォームモニター)、[ALM] (オーディオレベルメーター)、[Vector] (ベクトルスコープ) を表示するときは [オン] に設定します。表示しないときは [オフ] に設定します。

サブメニュー 設定

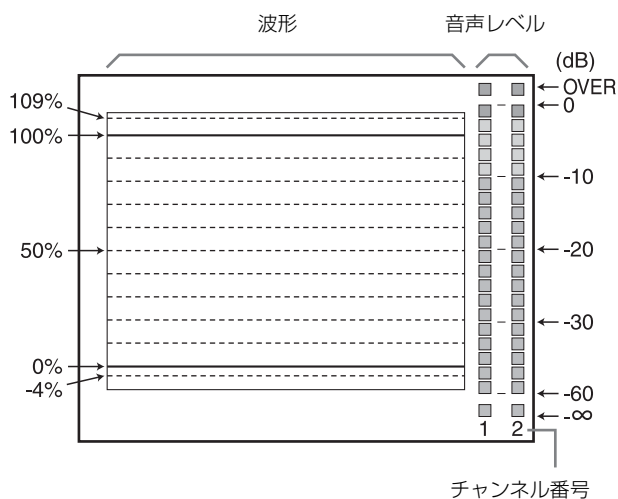
- [WFM/ALM/Vector]
- **[WFM]**: 波形モニターを表示します。
 - **[ALM]**: オーディオレベルメーターを表示します。
 - **[Vector]**: ベクトルスコープを表示します。

[WFM] を選択すると、波形と音声レベルが表示されます。YCbCrではY信号の波形、RGBではG信号の波形が表示されます。[ALM] を選択すると、音声レベルが8チャンネル分表示されます。[Vector] を選択すると映像信号の色差成分と音声レベルが表示されます。

SDI入力時、音声レベルは [SDI オーディオ設定] で選択したチャンネルが表示されます。

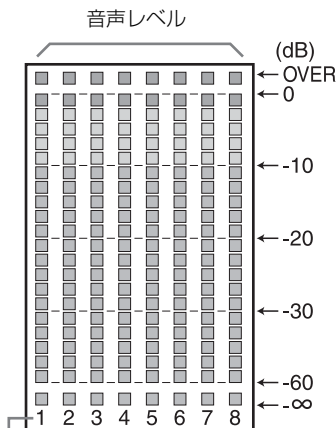
各選択画面の表示は以下のようになります (実際には波形図のパーセンテージ、音声レベルの単位・数値は画面には表示されません)。

[WFM] を選択したとき



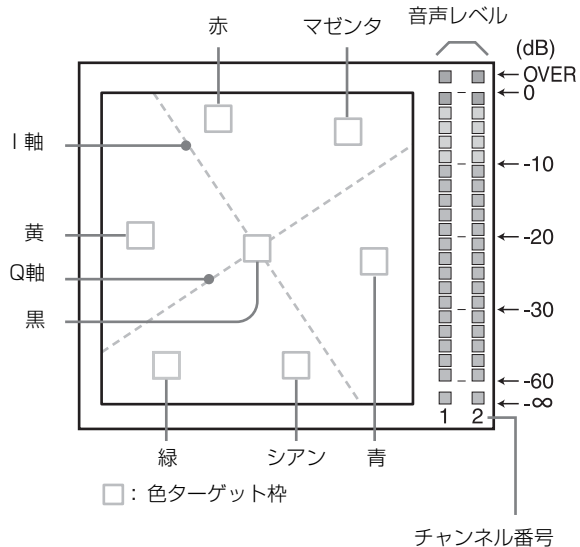
サブメニュー 設定

[ALM] を選択したとき



チャンネル番号 (SDI入力時、[SDI オーディオ設定] で選択されたチャンネルを含む8チャンネル分が表示され、選択されたチャンネルの文字は明るく表示されます)

[Vector] を選択したとき



[画面位置] WFM/ALM/ベクトルスコープ画面の表示位置を設定します。[左上]、[右上]、[左下]、[右下] から選択します。

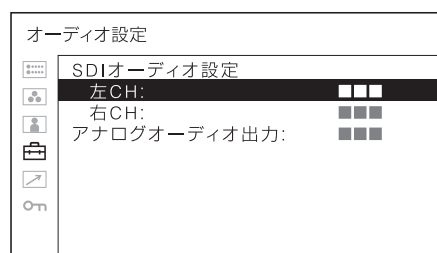
[透過度] WFM/ALM/ベクトルスコープ画面の背景を、[黒] または [ハーフ] (透過) から選択します。

- **[黒]**: 背景が黒色になります。表示していた画像は背景の後ろに隠れます。
- **[ハーフ]**: 背景が透けます。表示していた画像はWFM/ALM/ベクトルスコープ画面の後ろに透けて表示されます。

[表示輝度] 波形などの明るさを設定します。[低]、[中]、[高] から選択します。

サブメニュー	設定
[ライン選択]	[WFM] 選択時に、以下の [ライン位置] で指定したラインの波形を表示する場合は [オン] に設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [カラー]: ラインの表示色を [赤]、[緑]、[青]、[黄]、[白] から選択します。 • [ライン位置]: ラインの位置を設定します。数値を大きくすると下方向に、小さくすると上方向に移動します。
[ターゲット]	[75%] または [100%] から選択します。設定を変更することでベクトルスコープのターゲットが75%または100%に切り替わります。

[オーディオ設定]

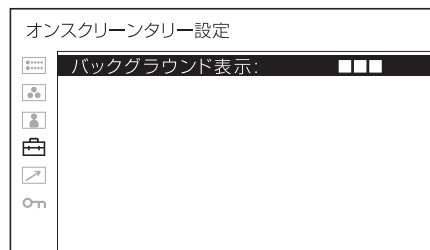


サブメニュー	設定
[SDI オーディオ設定]	SDI入力時に音声チャンネルを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [左CH]: [CH1] ~ [CH16] のチャンネルから選択できます。 • [右CH]: [CH1] ~ [CH16] のチャンネルから選択できます。 <p>[左CH] で選択されたチャンネルが [CH1] ~ [CH8] の場合は [右CH] も [CH1] ~ [CH8] から、[左CH] で選択されたチャンネルが [CH9] ~ [CH16] の場合は [右CH] も [CH9] ~ [CH16] から選択できます。</p> <p>設定したチャンネルのL/Rの音声レベルを画面に表示できます (詳しくは、[WFM/ALM/Vector (ウェーブフォームモニター/オーディオレベルメーター/ベクトルスコープ) 設定] (25ページ) をご覧ください)。</p>
[アナログオーディオ出力]	スピーカー出力させる音声信号 (ヘッドホン端子、AUDIO OUT端子を含む) を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [エンベディッド]: SDIまたはHDMI信号に埋め込まれた音声出力されません。 • [アナログ]: AUDIO IN端子へ入力された音声出力されます。

ご注意

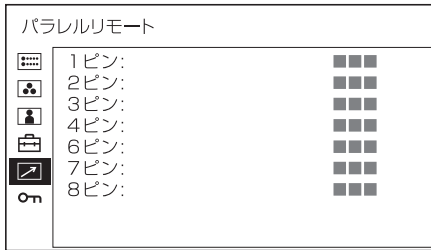
HDMIオーディオは、[CH1]、[CH2] 固定出力です。

[オンスクリーンタリー設定]



サブメニュー	設定
[バックグラウンド表示]	本機ではタリーは画面上に表示されます。[バックグラウンド表示] を [オン] に設定するとタリー表示エリアにマットを表示します。[オフ] に設定すると映像信号上にタリーが直接表示されます。

➤ [パラレルリモート] メニュー

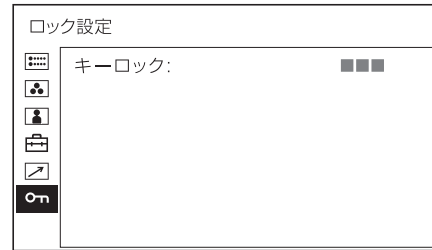


サブメニュー	設定
[1ピン] から [4ピン]、 [6ピン] から [8ピン]	PARALLEL REMOTE端子で機能を変更 したいピンを選択します。 1~4、6~8ピンに各機能を割り付けられま す。割り付け可能な機能は以下のとおりで す。 <ul style="list-style-type: none">• [SDI1]• [SDI2]• [HDMI]• [コンポジット]• [80% エリアマーカー]• [85% エリアマーカー]• [88% エリアマーカー]• [90% エリアマーカー]• [93% エリアマーカー]• [95% エリアマーカー]• [センターマーカー]• [4:3マーカー]• [サイドバイサイド]• [タリー 赤]• [タリー 緑]• [ノーマル]• [ネイティブ]• [4:3]• [16:9]• [左右反転]• [上下反転]• [上下・左右反転]• [WFM/ALM/Vector]• [カメラフォーカス]• [Mono]• [ブルーオンリー]• [シンクフリー SBS]• [音声ミューティング]• [---] ([---] は機能の割付なし。)

ご注意

- パラレルリモートを使用する場合は、配線が必要です。詳しくは14ページをご覧ください。
- アスペクトマーカーやセンターマーカーをコントロールするには、[マーカー設定] メニューの [表示設定] (25ページ) を [オン] に設定してください。

🔒 [ロック設定] メニュー



サブメニュー	設定
[キーロック]	各種設定項目の変更が効かないように、 キーロックをかけることができます。[オ フ] または [オン] を選択します。 [オン] に設定した場合、他のメニューの 設定項目はすべて黒色表示となり、変更で きなくなります。

故障かな？と思ったら

お買い上げ店などにご相談いただく前に、次の事項をご確認ください。

- **操作ボタンを押しても操作できない**→キーロックが働いています。[ロック設定]メニューで[キーロック]の設定を[オフ]に切り替えてください。
または機能しない項目がファンクションボタンに割り当てられています。メニューが表示されていないときにメニュー選択つまみを押して、ファンクションボタンに割り当てられている機能を確認してください。
- **画面の上下または左右に黒い帯が出る**→信号のアスペクト比とパネルのアスペクト比が異なるときは、黒い帯が出ますが、故障ではありません。
- **調整や設定ができない**→入力信号や設定状況によっては調整や設定ができないことがあります。「入力信号と調整・設定項目」(12ページ)を確認してください。
- **画面が暗くなり、電源が切れる**→本機内部の温度が上がると画面が暗くなり、電源が切れることがあります。このような症状が起きた場合は、ソニーのサービス窓口にご連絡ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付保証書の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理をさせていただきます。

主な仕様

画像系

パネル	a-Si TFTアクティブマトリクスLCD
画像サイズ	LMD-B240：23.8型 LMD-B170：17.3型
表示エリア (H×V)	LMD-B240：527.0×296.5 mm LMD-B170：381.9×214.8 mm
解像度 (H×V)	1920×1080 ピクセル (Full HD)
アスペクト比	16:9
有効画素数	99.99%
視野角 (パネルの仕様)	LMD-B240：89° /89° /89° /89° LMD-B170：80° /60° /80° /80° (上/下/左/右、コントラスト>10:1)
ノーマルスキャン	0%スキャン
色温度	D65、D93
ウォームアップ時間	30分 安定した画質を得るために電源を入れて 約30分以上通電してください。

入出力系

入力

SDI入力端子	BNC型 (2)
HDMI入力端子	HDMI (1) HDCP対応
コンポジット入力 (NTSC/PAL) 端子	BNC型 (1) 1 Vp-p ±3 dB負同期
音声入力端子	ステレオミニジャック (1) -5 dBu 47 kΩ以上
リモート入力端子	パラレルリモート RJ-45モジュラーコネクタ 8ピン (1) シリアルリモート (サービス用端子) RJ-45モジュラーコネクタ (1)
DC入力端子	XLR 4ピン (凸) DC 12 V~17 V (出力インピーダンス0.05 Ω以下)

出力

SDI (HD/SD) 出力端子

BNC型 (1)
出力信号振幅：800 mVp-p ±10%
出力インピーダンス：75 Ω不平衡

コンポジット出力端子

BNC型 (1)

ループスルー、75 Ω自動終端機能付き

音声モニター出力端子

ステレオミニジャック (1)

内蔵スピーカー出力

2.0 Wステレオ出力

ヘッドホン出力端子

ステレオミニジャック (1)

その他

電源

LMD-B240：AC 100 V~240 V、0.5 A~0.3 A、50/60 Hz

DC 12 V~17 V、3.2 A~2.0 A

LMD-B170：AC 100 V~240 V、0.4 A~0.3 A、50/60 Hz

DC 12 V~17 V、2.7 A~1.9 A

消費電力

LMD-B240：

約41 W (最大)

約29 W (平均消費電力、工場出荷時)

LMD-B170：

約38 W (最大)

約28 W (平均消費電力、工場出荷時)

動作条件

温度 0℃~35℃

推奨使用温度 20℃~30℃

湿度 30%~85%以下 (結露のないこと)

気圧 700 hPa~1060 hPa

保存・輸送条件

温度 -20℃~+60℃

湿度 0%~90%

気圧 700 hPa~1060 hPa

付属品

AC電源コード (1)

3極→2極変換プラグ (1)

ACプラグホルダー (1)

ご使用になる前に (1)

CD-ROM (1)

European Representative (欧州代理人)
(1)

保証書 (1)

別売アクセサリ

マウンティングブラケット

MB-L22 (LMD-B240用)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

対応信号フォーマット

本機は下記信号方式に対応しています。

Composite

信号システム	信号構造	Quantization
720 ¹⁾ × 487/59.94/I	NTSC 0/7.5	Limited
720 ¹⁾ × 576/50/I	PAL	Limited

SD-SDI

信号システム	信号構造	Quantization
720 × 487/59.94/I	4 : 2 : 2 (YCbCr) 10bit	Limited
720 × 576/50/I	4 : 2 : 2 (YCbCr) 10bit	Limited

HD-SDI Single Link

信号システム	信号構造	Quantization
1920 × 1080/50/I	4 : 2 : 2 (YCbCr) 10bit	Limited
1920 × 1080/60 ²⁾ /I	4 : 2 : 2 (YCbCr) 10bit	Limited
1280 × 720/50/P	4 : 2 : 2 (YCbCr) 10bit	Limited
1280 × 720/60 ²⁾ /P	4 : 2 : 2 (YCbCr) 10bit	Limited
1920 × 1080/24 ²⁾ /PsF	4 : 2 : 2 (YCbCr) 10bit	Limited
1920 × 1080/24 ²⁾ /P	4 : 2 : 2 (YCbCr) 10bit	Limited
1920 × 1080/25/PsF ³⁾	4 : 2 : 2 (YCbCr) 10bit	Limited
1920 × 1080/25/P	4 : 2 : 2 (YCbCr) 10bit	Limited
1920 × 1080/30 ²⁾ /PsF ³⁾	4 : 2 : 2 (YCbCr) 10bit	Limited
1920 × 1080/30 ²⁾ /P	4 : 2 : 2 (YCbCr) 10bit	Limited
1280 × 720/24 ²⁾ /P	4 : 2 : 2 (YCbCr) 10bit	Limited
1280 × 720/25/P	4 : 2 : 2 (YCbCr) 10bit	Limited
1280 × 720/30 ²⁾ /P	4 : 2 : 2 (YCbCr) 10bit	Limited

HDMI

信号システム	Quantization
640 × 480/60 ²⁾ /P	Full
720 × 480/60 ²⁾ /P	Limited
1280 × 720/60 ²⁾ /P	Limited
1920 × 1080/60 ²⁾ /I	Limited
720 × 480/60 ²⁾ /I	Limited
720 × 576/50/P	Limited

信号システム	Quantization
1280 × 720/50/P	Limited
1920 × 1080/50/I	Limited
720 × 576/50/I	Limited
1920 × 1080/60 ²⁾ /P	Limited
1920 × 1080/50/P	Limited
1920 × 1080/24 ²⁾ /P	Limited
1920 × 1080/25/P	Limited
1920 × 1080/30 ²⁾ /P	Limited

1) SMPTE ST170 (480/59.94i)、ITU-R BT.470 (576/50i)の水平ブランキング期間はマスクして表示されます。

2) フレームレート1/1.001にも対応しています。

3) 1080/25PsF、30PsFは、映像信号にペイロードIDが付加され、[SDIペイロードID判別]の設定で「オン」が選択されている場合には画面上に

1080/25PsF、30PsFと表示されます。ペイロードIDが付加されていない場合、または[SDIペイロードID判別]の設定で「オフ」が選択されている場合には1080/50I、60Iと表示されます。

PC信号

本機は以下のPC信号に対応しています。

システム	HDMI/DVI		
解像度	ドットクロック (MHz)	fH (kHz)	fV (Hz)
640×480	25.175	31.5	60
1280×768	68.250	47.4	
1280×1024	108.000	64.0	
1360×768	85.500	47.7	
1440×900	88.750	55.5	
1680×1050	119.000	64.7	

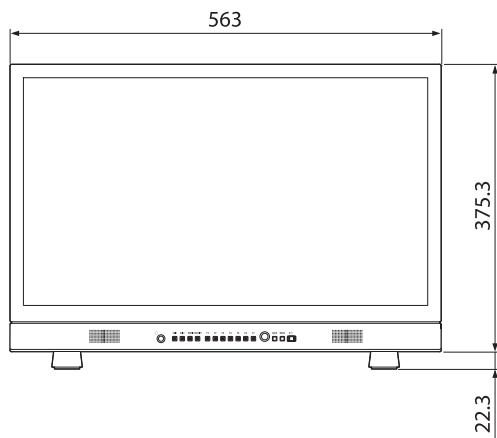
ご注意

信号によっては、画像の端が欠けて表示される場合があります。

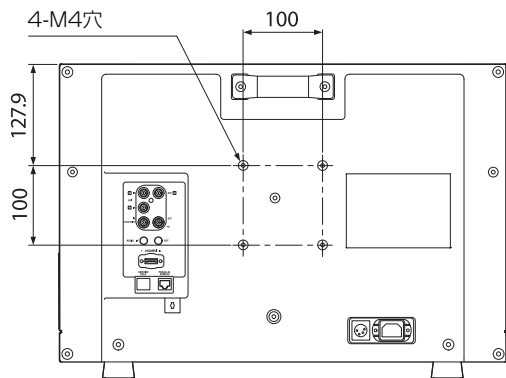
寸法図

LMD-B240

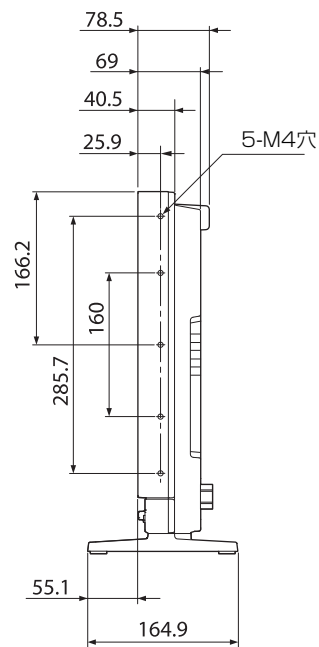
前面



後面



側面



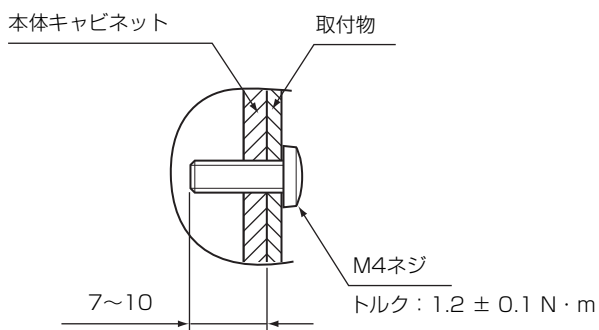
単位：mm

質量：

約6.4 kg

約6.3 kg (スタンド取り外し時)

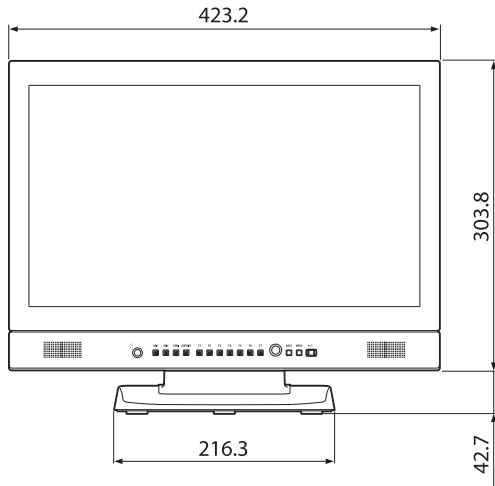
* M4ネジの長さ (背面)



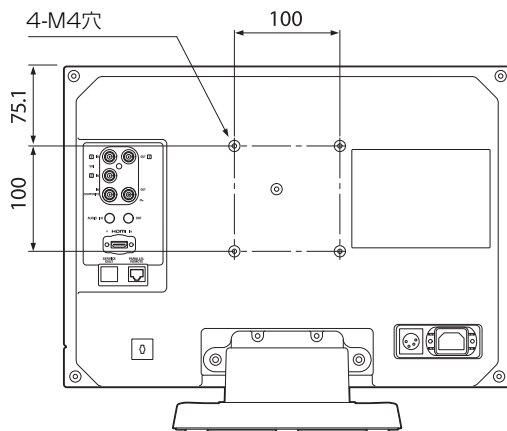
単位：mm

LMD-B170

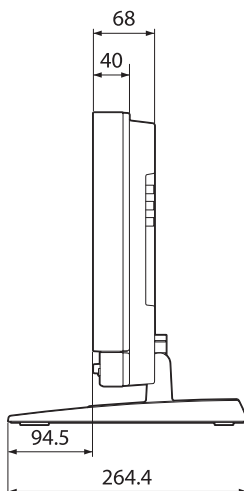
前面



後面



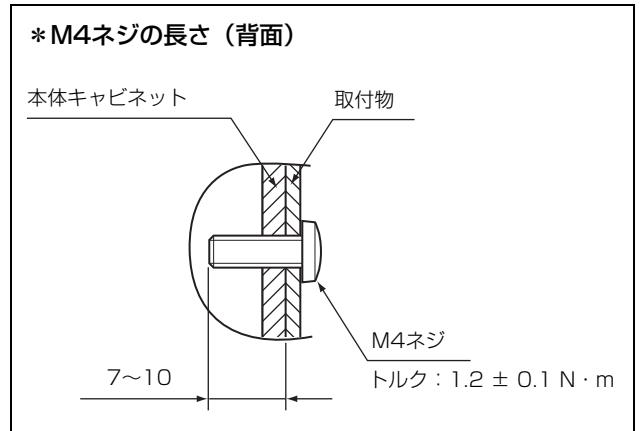
側面



質量：

約5.9 kg

約4.1 kg (スタンド取り外し時)



単位：mm

単位：mm

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>